

# EDT-X

イーディーティー エックス

## EDTA 中性脱灰液

脱灰液



穏やかな脱灰作用で  
組織への損傷が少ない

### 特長

- 骨などの硬組織に対し、30日以上浸漬しても染色への悪影響は少なくなっています
- 脱灰に長時間を要しますが、核酸へのダメージが少ない脱灰が可能です

### 成分

EDTA

### 用法

原液を常温(15~25℃)で使用します

### 貯蔵方法

日光を避け、容器を密閉し、涼しい場所で保管してください

### 包装単位

商品コード	商品名	包装単位
CS-7101-1L	EDT-X	1L
CS-7102		1L×2
CS-7104		1L×4

# 脱灰方法

# EDT-X

イーディーティー エックス

## 固定済組織を EDT-X に浸漬し、脱灰します

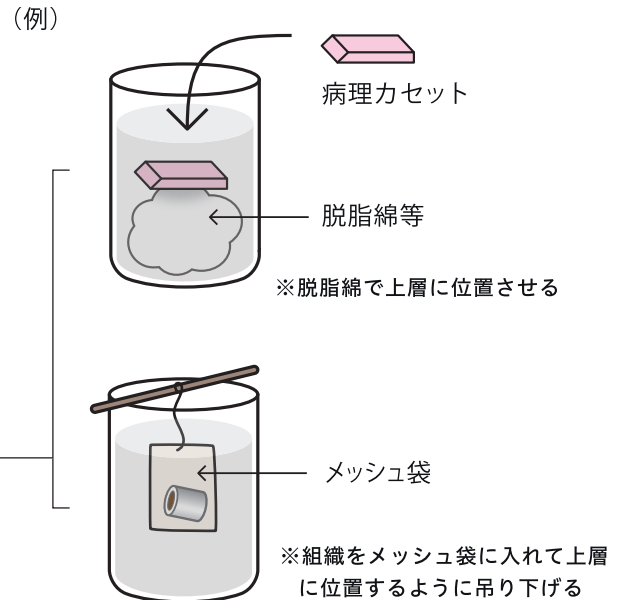
### 脱灰時のポイント

- ・組織はできるだけ小さく薄く  
(カセットに入る薄さで最大5mm程度)
- ・事前に脱脂処理を行う  
(脱灰液の浸透を良くする)
- ・脱灰液の使用量は脱灰する組織重量の  
50～100倍量
- ・脱灰時の組織の位置を工夫★
- ・液は1～2日ごとに交換
- ・脱灰終了確認は、1日2回程度、針など  
を入れ、脱灰の進み具合をチェック

※浸漬時間は温度・組織の種類・厚さにより異なりますが、  
目安として弊社製品のK-CX(酸性脱灰液)のおよそ  
15～20倍の時間が必要です

溶出したカルシウム化合物の再沈着防止  
のため、組織が底に沈まないようにする

### ★ 組織の位置を工夫する際のポイント

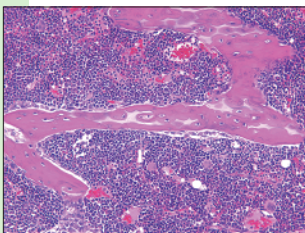


### 表面脱灰にも使えます

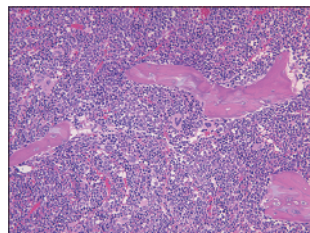
- <方法>
1. シャーレに濾紙を敷き、濾紙が浸るくらいに EDT-X を入れます。
  2. その上に面出ししたブロックを置きます。濾紙が乾いたら液を足して使用できます。  
再度薄切するときは、ブロックを水洗してから切ってください。

### EDT-X で脱灰した組織の染色例 (HE、免疫組織化学染色)

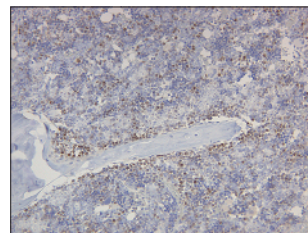
材 料	ラット大腿骨	固 定	10%中性緩衝ホルマリン
脱 灰	液 量	組織の 50～100 倍程度	
	脱灰時間	約 5 日	
	温 度	常温	
	液交換の頻度	2 日に 1 回程度	



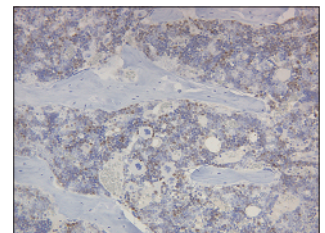
HE染色 ①



HE染色 ②



PCNA ①



PCNA ②

仕様は予告無く変更される場合があります。

発売元

FALMA

株式会社 ファルマ

東京営業所  
〒151-0065 東京都渋谷区大山町36-7  
TEL 03(6407)2570 FAX 03(3465)0300  
大阪営業所  
〒532-0003 大阪市淀川区宮原5-1-3  
TEL 06(6397)2411 FAX 06(6397)2852  
<http://www.falma.co.jp>

1912003